

国宝「医心方」のユネスコ「世界の記憶」登録に向けた仁和寺への視察について

2025 年 11 月 26 日

定例記者会見

日本医師会では、2016 年 12 月より、国宝「医心方」のユネスコ「世界の記憶」への登録を目指して活動している。ユネスコ「世界の記憶」は手書き原稿、書籍、新聞、ポスター、地図、映画・フィルム、写真、デジタル記録等を、人類史において特に重要な記録物として国際的に登録する制度である。

「医心方」は、平安時代に宮中医官を務めた丹波康頼が撰した、日本に現存する最古の医学書で、984 年に朝廷に献上された。仁和寺の「医心方」は 1952 年に、東京国立博物館の「医心方」（半井家本）は 1984 年に、いずれも国宝となっている。本文は全て漢文で書かれており、引用した隋・唐・朝鮮の医書や方術書は 120 以上に上るが、中には既に散逸してしまい「医心方」によってのみ、その存在を知り得る書物も少なくない。そのため、文献学などの日本の文化史上においても価値の高いものと言われている。

11 月 17 日、日本鍼灸師会の協力のもと、京都・仁和寺で国宝「医心方」の視察を行った。

登録にかかる審査は 2 年に 1 回であり、2027 年の申請、2029 年のユネスコ登録に向けて、日本医師会は、今後も引き続き取り組みを進めていく。



文部科学省 HP より



仁和寺 HP より

日時：2025年11月17日(月)
場所：仁和寺霊宝館
出席者：
総本山仁和寺
執行長真言宗御室派 宗務総長
大林 實温
真言宗御室派明観寺／総本山仁和寺 住職／
真言宗御室派宗会議員 議会運営委員長
坂本 樹弘
学芸員 朝川 美幸
日本医師会
名誉会長 横倉 義武
副会長 茂松 茂人
常任理事 城守 国斗
京都府医師会
会長 松井 道宣(日本医師会監事)
日本鍼灸師会
会長 中村 聡
副会長 児山 俊浩
副会長 安田 政寛
京都府鍼灸師会
会長 熊野 利明
医心方を応援する会
会長 櫻井 雅子(福知山市文化財保護審議会委員)
全日本鍼灸学会
会長 若山 育郎
副会長 山口 智
副会長 村上 哲二
全日本鍼灸マッサージ師会
会長 長嶺 芳文
業務執行理事(京都府鍼灸マッサージ会会長)
森 孝太郎
日本あん摩マッサージ指圧師会
会長 安田 和正
理事 角本 靖司
日本視覚障害者団体連合
事業部部長 逢坂 忠

など

京都・仁和寺 国宝「医心方」視察（2025年11月17日）
集合写真



京都・仁和寺 国宝「医心方」視察



京都・仁和寺 国宝「医心方」視察
ユネスコ登録へ向けての打ち合わせ

